

議会だより



3月の
定例会

- ② 約280億円 過去最大の予算可決
ふるさとの復興へ向けて勝負の年
- ⑦ ズバリ!! 町政を問う
4議員が質問
- ⑬ 新議会の構成決まる
- ⑱ 復興へのあゆみ
Step.5

夢に向かって新たな一歩 / 富岡町立中学校入学式(三春町)

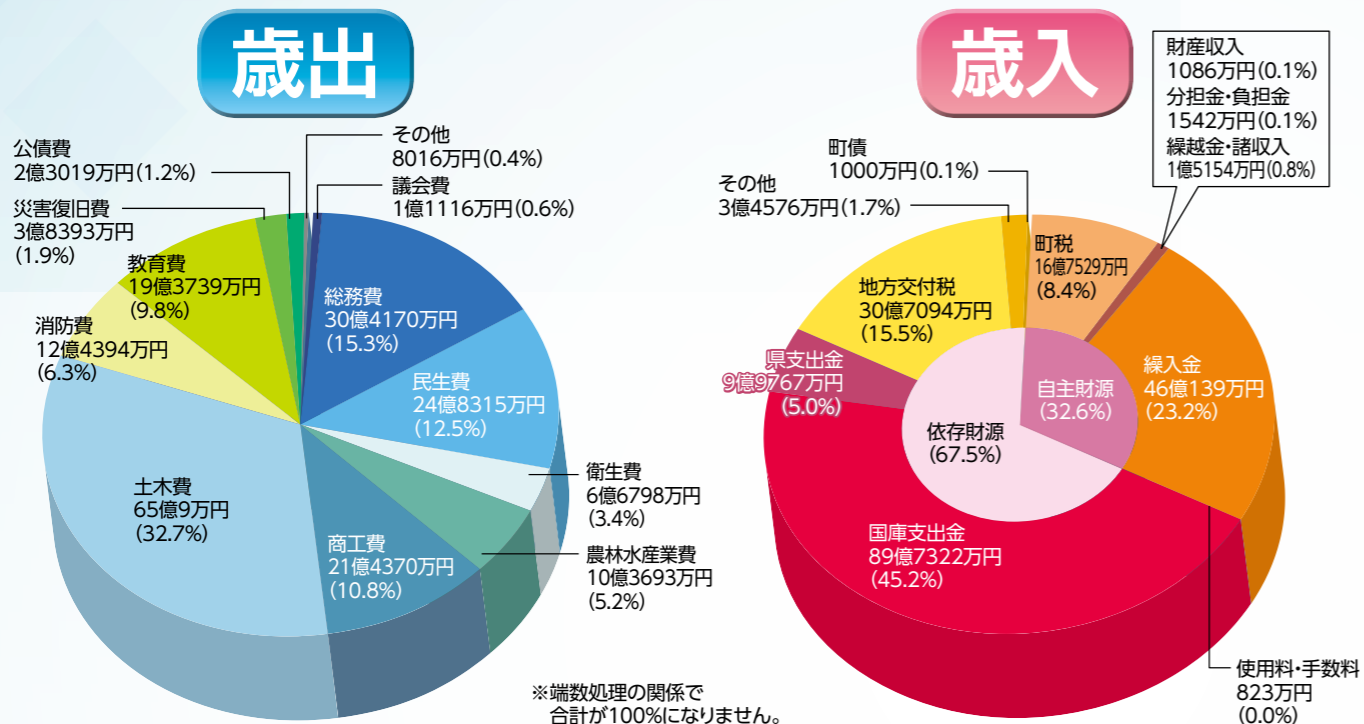
平成28年度
当初予算

約280億円 過去最大の予算 可決 ふるさとの復興へ向けて勝負の年

《一般会計 198億円

特別会計 81億円》

一般会計 198億6031万円



定例会のあらまし

平成28年3月定例会は3月3日から8日まで6日間の会期で開催しました。
平成28年度一般会計及び特別会計の当初予算をはじめ、平成27年度の補正予算、条例の制定及び一部改正、人事案件、不動産の取得案件など、計50件の議案を慎重に審議し、可決49件、否決1件で終了しました。
一般質問では4議員が登場し、今後直面する課題や町政運営のあり方について問いただきました。

《平成28年度の主な事業》

- 庁舎機能回復事業(総務費)** 2億8700万円
富岡町役場本庁舎の機能回復工事を行います。工事完了は平成29年3月の予定です。
- 町づくり活性化事業(総務費)** 1億3412万円
復興計画を実現させるための各種アクションプランの策定等を行います。
- 高度情報化推進計画事業(総務費)** 2億812万円
町内外に町の最新情報を発信するとともに、スマートフォン向けアプリの作成等を行います。
- とみおか診療所整備事業(衛生費)** 3億3712万円
町内曲田地区に診療所を整備します。平成28年10月開所の予定です。
- 営農再開支援事業(農林水産業費)** 2億5743万円
除染後の農地の保安全管理や営農再開に向けた復興組合の支援等を行います。
- 商業拠点施設整備事業(商工費)** 16億7405万円
町内曲田地区に公設民営の商業施設を整備します。平成28年秋以降の開業予定です。
- 道路新設改良事業(土木費)** 10億2560万円
町内の道路、橋梁の新設改良工事を行います。
- 公営住宅整備事業(土木費)** 17億983万円
町内に整備する公営住宅の用地取得及び整備された住宅の購入を行います。
- 防災行政無線経費(消防費)** 5億9172万円
町内の防災行政無線を整備し、緊急時の連絡体制を構築します。
- 文化交流センター施設管理費(教育費)** 10億3109万円
学びの森の機能回復工事を行います。工事完了は平成29年3月の予定です。
- 体育施設管理費(教育費)** 2億7626万円
平成28年度は、総合体育館・武道館・テニスコート・野球場等の実施設計を行います。

《高度情報化推進事業 2億812万円》

問 配布しているタブレットの更新の予定は、

答 総務課長
平成28年度で現在のタブレットの使用契約が終了することから、平成29年度には新たなタブレットを配布したいと考えます。

問 町内で町民が集う場所のWiFiのフリースポット化の検討は、

答 総務課長
役場や商業施設など、町民が集う場所のフリースポット化を検討します。

《体育施設管理費 2億7626万円》

問 体育館を利用していた事業者が、再度除染をして返還してくれるのか。

答 教育総務課長
再除染を実施するかは未確認ですが、貸した時と同じ状態で返還してもらおう契約です。

問 返還時の放射線量にかかわらず、除染は必ずやっってもらわなければならないと思うが、

答 町長
事業者と協議し、除染してから返還してもらえようように要望します。



こんなことが決まりました

人事案件

教育委員会委員を再任

平成28年3月31日をもって、任期満了となる富岡町教育委員会委員に関本征司さんを再任する議案が提出され、投票の結果、全会一致で同意しました。任期は平成32年3月31日までの4年間です。



関本 征司さん

【関本征司教育委員 ごあいさつ】

「時は今」と申しますか、「胸突き八丁」と申しますか、平成28年度は、富岡町の再生復興に向けて、まさに正念場の年であると認識しております。役場職員の皆様、そして議員の皆様には、日々ご努力いただいていることに、感謝と御礼を申し上げます。

私も微力ではございますが、教育委員という職務を通じて、町のお役に立てるように精進したいと思っております。どうぞよろしくお願いたします。

町政報告要旨

【町の取り組み】

帰還困難区域を除く町内の除染は、本年度内に一通り完了する見込みであり、また、町立診療所や複合商業施設、災害公営住宅などの、町内での生活に向けた復興拠点内の施設整備も着々と進行してまいります。

加えて、「保健・福祉」や「第3の道」等の各種アクションプラン

なども皆さまにお示しできるように準備を進めています。

【特例宿泊】

帰還目標時期を約一年後に控えた今、潜在する課題を抽出するため、3月17日より特例宿泊を実施することとしました。

実施に当たっては、国と詳細な調整を重ね、町独自の取組としても、役場職員の24時間の配



町政報告をする宮本町長

置、個人積算線量計の貸出、保健師による巡回訪問の実施など、宿泊する町民の安全・安心を最優先とする体制確保に万全を期しています。

【平成28年度当初予算】

富岡町の本格復興に向け、まさに「正念場の年」であるとの観点から、「富岡町の発展を見据えた『心』と『ふるさと』再生の加速化」を基本理念とした上で、次の三つを取組方針として、平成28年度当初予算を編成しました。

①ふるさと富岡での生活を見据えた環境作りの加速化

JR富岡駅周辺整備などの生活インフラの整備事業や診療所や商業施設、災害公営住宅などの復興拠点整備事業など

②町民一人ひとりの心

の復興に向けた生活と誇りの再建
各種証明書のコンビニ交付事業などの避難生活支援事業や震災の記録等の収集・保存・伝承など

③ふるさと富岡の発展を支える産業と交流基盤の再生

営農再開等の農林水産業の支援事業や文化交流センターの機能回復などの交流基盤の再生事業など

一般会計総額で約19.8億円、特別会計を合わせると約280億円という、富岡町としては、過去類を見ない予算規模となりましたが、帰還開始目標を目前に控えた年であるだけに、帰還後の町の発展を見据えた基礎を構築する上でも重要な年ですので、ご理解とご協力をお願いします。

副町長二人制を否決

【提案理由】

帰還開始に向けた事業がますます本格化することから、様々な物事に機動的かつ適切に対応するため、現行の副町長一人を二人に改正するものである。

【採決結果】

否決

賛成：6

堀本・早川・遠藤
渡辺(光)・高橋
渡辺(三)

反対：7

山本・安藤・
宇佐神・高野
渡辺(英)・黒澤
三瓶

【質疑応答】

問 副町長を二人にするところによる財政的な負担は。

答 総務課長

現在支給している副町長の給与等が2倍になります。

問 メリットは。

答 総務課長

帰還に向けた膨大な業務を郡山・いわき・富岡と離れた3か所で執務を行う上で、それぞれの場所でも臨機応変な意思決定、迅速な対応ができるようになることを考えます。

【役割分担は。】

答 総務課長

副町長に第一、第二という順位づけをし、第一副町長には郡山方を、第二副町長にはいわき・富岡方を担当していただきます。当然、重要課題についてはどちらにも情報を共有していただき、対応していただきます。

問 総務課長が副町長の代わりを担うような対応はとれないか。

答 副町長

総務課長が他課の所管する業務まで把握し、指揮命令するというのは無理だと考えます。

【討論】

【反対意見】

山本育男議員

この問題は、当町にとって大変重要な問題であると認識しています。民間の方の登用も考えるなど、もつと町民の理解を得られるような慎重な議論をして定めていただきたいと考えますので、反対します。

【反対意見】

安藤正純議員

いわき支所機能の十分な拡充がなされないまま、第一副町長をいかに置くということが納得できません。平成29年4月以降に富岡に役場機能を戻し、郡山・富岡の両体制になった後に、この副町長一人制の議論をするべきだと考えますので反対します。

【賛成意見】

渡辺三男議員

目標とする帰還時期までじっくりと議論している時間もあまりありません。また民間の方を登用するとしても、富岡町の現状を把握し、すぐに動けるような人材を見つけることは困難であると考えますので、人材面も含めた町執行部の提案に賛成します。

【賛成意見】

遠藤一善議員

現在の富岡の復興状況、郡山・いわきの現状を考えると、膨大な業務を現在の体制で行うのは厳しいと考えます。町の復興と、さらなる行政サービスの向上を図るためにも、副町長を二人体制にすることに賛成します。

ズバリ!!

町政を問う

4議員が質問 3月定例会の一般質問に4議員が登壇し、町の対応や考えなどを問いました。この紙面では、質問した順に質疑応答の要点をお知らせします。

1 三瓶 一郎 議員 8

- 誘致する企業の資産調査を実施せよ
- 学びの森の早期再開は
- 教育施設の整備方針は

2 遠藤 一善 議員 9

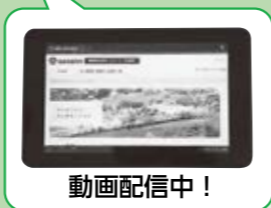
- 町は「里山」の範囲をどこまでと考えるか
- 大倉山の除染方針は

3 堀本 典明 議員 10

- 国際共同研究棟事業の進捗は
- 広域連携の強化が必要では

4 山本 育男 議員 11

- 平成28年度の予算編成方針は
- ICT(情報通信技術)の利用に対する考えは
- 観光事業の展望は
- 英語教育に対する町の考えは



動画配信中!

【不動産の取得】

不動産の取得案件3件について、全会一致で可決しました。

- 廃炉国際共同研究センター国際共同研究棟建設事業に係る事業用地
地目：田 面積：11,540㎡
価格：36,928,000円
- 富岡町災害公営住宅整備事業に係る事業用地
地目：宅地及び田 面積：10,768.77㎡
価格：214,900,136円
- 拠点商業施設整備事業に係る事業用地
地目：宅地、雑種地及び保留地
面積：土地 17,676.91㎡ 建物 7,118.84㎡
価格：484,635,796円



公営住宅整備予定地(曲田地区)

【指定管理者の指定】

指定管理者の指定案件2件について、全会一致で同意しました。

- 富岡町養護老人ホームの指定管理者の指定
団体名：社会福祉法人 伸生双葉会
理事長：大原 弘道
指定期間：平成28年4月1日～平成31年3月31日
- 富岡町立とみおか診療所の指定管理者の指定
団体名：医療法人社団 邦諭会
理事長：今村 諭
指定期間：平成28年4月1日～平成31年3月31日

※指定管理者制度とは

地方公共団体がおもつ公共施設の管理・運営を、民間事業者を含む法人等に委託することができる制度だっぴー



一般会計 補正予算 20億4206万円を減額

《総額は154億1799万円に》

事業の完了、精査による減額補正が目立ちました。補正のあった主な事業は以下のとおりです。

- ・庁舎機能回復事業費 2億3373万円減
- ・営農再開支援事業費 1億6431万円減
- ・農地等維持修繕事業費 1億5597万円減
- ・工業団地事業費 1億7058万円減
- ・商業拠点施設整備事業費 3億7920万円減
- ・防災行政無線経費 5億8591万円減
- ・その他(事業の完了、精査による) 3億5236万円減



遠藤 一善 議員

問 町は「里山」の範囲をどこまでと考えるか

答 住民が容易に立ち入ることができる森林

問 政府は森林除染について「里山」にも広げる方針を発表したが、町としては「里山」の範囲をどこまでと考えるのか。

答 町長 宅地に隣接した森林はもとより、地域の住民が往来する際に通る山道をもつような森林、シイタケのホダ場、容易に山菜等を探りに立ち入ることができるとらえ、広域的かつ効果的な除染の実施を今後も強く求めていきます。

問 里山エリアを具体的に示せ。

答 復興推進課長 詳細については現在交渉中ですが、県道35号線から東側は



三瓶 一郎 議員

問 誘致する企業の資産調査を実施せよ

答 進出企業や金融機関から聞き取り調査を行う



造成中の富岡工業団地(本岡地区)

※万象ホールディングスが進出を希望した際には、現地調査や金融機関調査等を行い、議会の同意を得て決定した。

問 企業を誘致する際には、進出を希望する企業の資産内容を十分にリサーチすべきではないか。

答 町長 本町へ進出を希望される企業については、これまでにも、企業業績や事業内容等の調査を行うなど、企業活動の持続性が確保されることの確認を行ってきました。今後も、進出希望企業や関係する金融機関などからの聞き取りによる確認を行

い、併せて、国や県の企業立地担当部署から、情報を収集していきたいと考えています。なお、進出を希望される企業に対しては、進出後の活発な事業展開と事業持続のためにも、本町の状況を十分把握いただくことが、何よりも重要と考えますので、企業進出に係るPR資料を作成し、積極的に活用していくとともに、国、県との一層の連携強化に努めていきます。

問 学びの森の早期再開は多くの方が集える施設として必要か。

答 町長 学びの森は、「復興拠点整備計画アクションプラン」の中で平成30年4月を再開の目標として示し、平成28年度より復旧に向け、本格的な工事を予定しています。

問 里山を特定する上で地元住民からの聞き取りは。

答 復興推進課長 町内一円に詳しい方にはご指導いただいておりますが、なお、地元の方からの情報収集を行っていきたく考えています。

問 教育施設の整備方針は第一中学校を来年度中に改修か。

答 教育長 町は、曲田地区での小・中学校の再開を目指しており、震災による建物被害の比較的小さい第一中学校舎を平成28年度中に改修したいと考えています。

問 植物の群生地の把握は。

答 産業振興課長 現在のところ詳細に把握はしていませんが、来年度より除染の状況を考慮しながら、調査を開始したいと考えています。

問 大倉山の除染方針は可能な限り広範囲の除染を要望する。

答 復興推進課長 町内一円に詳しい方にはご指導いただいておりますが、なお、地元の方からの情報収集を行っていきたく考えています。

問 大倉山の除染方針は。

答 町長 大倉山には、赤木地区内を起点としたハイキング道として通称「塩の道」、さらに頂上付近にトイレや東屋を備えた大倉山森林公園が整備されています。



大倉山登山道入り口 ※現在は入山できません。



山本 育男 議員

問 平成28年度の予算編成方針は

答 費用対効果を意識した予算編成

問 今後5年間の財政見通しは。

答 町長 平成28年度からの5年間は、復興・創生期間とさ

問 平成28年度の予算編成方針は。

答 町長 既存事業は、類似・重複する事業の洗出しや内容の見直しを行い、また、新規事業においては、新たな視点を取り入れ、事業の成果を十分に検証するなど、限りある財源の中で、費用対効果を意識した事業内容としました。

また、各種補助事業を積極的に活用し、可能な限り財源の確保を図り、一般財源の縮減に努めたところです。

れ、被災12市町村内の事業および原子力事故対策事業については、全額国庫負担が継続されます。また、交付税においても特例措置が講じられるなど、今後5年間の復興財源の確保はある程度見通せる状況となっております。しかし、税収や使用料等の自主財源は、今後も大幅な増収を見込めない状況です。

このため、町は、国に対し、被災地の置かれた状況を十分踏まえた確実な財源の確保を求める一方、「使うべきは使う、削るべきは削る」を基本に、持続可能な財政構造の構築に努めていきます。

ICTの利用は、町民と町をつなぐための非常に有効なツールであると考えていますので、福祉や教育などで、多様な分野での可能性を検討し、今後さらに、ICTの有効活用を図っていきます。

問 ICT(情報通信技術)の利用に対する考えは

答 町長 本町でも、本年1月25日に住民票等のコンビニ交付を行うなど、積極的にICTを利用した行政サービスの向上を図っています。

ICTの利用は、町民と町をつなぐための非常に有効なツールであるとと考えていますので、福祉や教育などで、多様な分野での可能性を検討し、今後さらに、ICTの有効活用を図っていきます。

問 ICT(情報通信技術)の利用に対する考えは

答 町長 本町でも、本年1月25日に住民票等のコンビニ交付を行うなど、積極的にICTを利用した行政サービスの向上を図っています。

また、震災の記録や遺産を活用しながら、スタディツアーなどを民間機関と協力して進め、県内外からの集客につなげていくとともに、地域の活性化も図っていきたくと考えています。

問 観光事業の展望は

答 町長 帰還後は、放射線量の状況を考慮し、安全性を確認しつつ順次、再開していきたいと考えています。具体的には、桜通りでのライトアップや麓山の火祭りなど、今後とも検討を深めていきます。

問 観光事業の展望は

答 町長 帰還後は、放射線量の状況を考慮し、安全性を確認しつつ順次、再開していきたいと考えています。

今後、きめ細やかな英語教育の推進を図って行きたいと考えています。

問 英語教育に対する町の考えは

答 町長 現在、町立小・中学校三春校には語学力の向上と国際感覚の醸成のため、ALT一名を配置しています。小さい頃より「生」の英語に触れる事により、子ども達が外国の方々と積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図りながら、気軽に会話のできる環境を整えているところです。

問 英語教育に対する町の考えは

答 町長 現在、町立小・中学校三春校には語学力の向上と国際感覚の醸成のため、ALT一名を配置しています。



堀本 典明 議員

問 国際共同研究棟事業の進捗は

答 今後担うべき役割を協議する段階

問 当町に整備される事が決定した国際共同研究棟の詳細な情報は。

答 町長 平成29年4月の研究棟開設を目指し、来月より建設に着手し、施設開設後、職員約30名程度の運営から段階的に研究者を増員させる予定で、最終的に100名から150名程度の研究施設とする計画とのこと。

なお、隣接する学びの森を活用した研修会の開催や研究者の生活環境整備について相談がありますので、町として、関係機関との連携を密にし、対応していきます。

問 国際共同研究棟周辺の田畑を買い上げて、企業誘致などに利用する考えは。

答 企画課長 それがまさに町が望むことではありますが、農地を買い上げる際には、農地の



学びの森を含めた交流の場の創出を目指す

利用方法が定まらないうと農地転用や農振除外ができません。まずは全体的な構想を実現するためにどのような施設が必要なのか。また国や県はどのような考えを持っているのか協議しながら進めていきたいと考えています。

問 各市町村において、避難解除後に住民帰還が進まない現状で、共通問題を打開する為に広域連携の強化が必要では。

答 町長 震災、原発事故の影響で、人口減少の傾向が進展する中、広域連携の必要性は、以前より増してきており、広域連携を更に強化していく必要があると考えています。

問 広域連携の強化が必要では

答 副町長 複数の市町村をまとめる県のリーダーシップが非常に重要で、12市町村将来像の提言の中にも県が積極的に関わる事となっています。連携の必要性は、様々な会議で各町村からも強い声として上がっていると感じます。単なる効率的な広域連携ではなく、双葉郡地域全体の発展的かつ前向きな連携が必要であり、大きな視野を持って取り組んでいきたいと考えています。

産業復興常任委員会

Q 新たに建設される駅舎はどの程度の規模か。

A 平屋建てで、旧富岡駅と同程度の規模の駅舎を予定しているとのこと。復興拠点の交通の要となる場所ですので、にぎわいの広場を併設し、魅力ある駅前づくりを進めていきたいと考えます。

【拠点整備課】

Q とみっぴーの今後の活用方法は。

A 富岡の歴史文化の伝承や現状を伝えるなど、情報発信を主に活動していきたいと考えています。

Q とみっぴー音頭やとみっぴー体操をつくって、高齢者の健康増進等につなげるような展開は。

A 検討委員会の中では、みんなで一緒にできるようなものをつくって、交流をしながら広めていきたいという話が出ています。

【産業振興課】

Q 家屋解体の受付期間の終期は。

A まだ終期は設定されていませんが、他自治体では避難指示解除前に受付を終了したという先行事例もありますので、広報等を通じて家屋解体申請の勧奨をしていきたいと考えます。

【復興推進課】

Q 仮設住宅等の自治会の存続が難しくなっているのでは。

A 自治会長や役員の担い手がいないため、自治会を解散するところも出てきています。これまで自治会が担ってきた役割の中で、仮設住宅の連絡員等ができる業務はないか、検討を始めているところです。

【生活支援課】

総務常任委員会

Q 町内の集会所の修繕方針は。

A 多目的集会所を中心に修繕する方針です。全体を修繕、維持するのは非効率ですので、集約は必要だと考えます。

【総務課】

Q 町内に整備する公営住宅について、戸建てだけでなく、集合住宅や介護も考慮にいたした住宅の整備を検討しては。

A 2期分以降では、高齢者や障がい者に配慮した長屋住宅やバリアフリー住宅の整備を行う予定です。

Q グループで申し込みがあった場合の対応は。

A 既存のコミュニティを維持したいというグループの意向を汲み取ることは大切であると考えますので、要綱の中に盛り込むことを検討します。

【企画課】

Q 倒壊の危険性を鑑み、町として、町内の大規模半壊以上の建物の解体を進める考えは。

A 関係する各課、機関と協議し、対応を検討します。

【税務課】

Q 今後、町内の土壌調査はどのように行うか。

A 現在は公共施設を中心に土壌調査を行っていますが、今後は現地での個別の調査にも対応できるようにしたいと考えます。

【健康福祉課】

常任委員会とは、本会議前に各課の事務の執行状況それぞれの常任委員会が調査し、議案などを事前に審査したり、などを調査する場です。また、調査した主な事業について報告します。

特例宿泊

安全の確保が最優先

平成28年1月27日及び2月10日、富岡町役場 桑野分室で全員協議会を開催し、国より特例宿泊についての説明を受けました。

議員からは、警察や消防などの夜間対応の要望や屋内の放射線量の把握が十分でないことなど、様々な意見が出されました。

《国が想定する特例宿泊の日程》

- 【お彼岸】 平成28年3月17日 ～ (10日間程度)
- 【お花見】 平成28年4月6日 ～ (10日間程度)
- 【GW】 平成28年4月29日 ～ (10日間程度)

《国の説明》

これまでの復興に向けた取り組みにより、最低限必要なインフラ(上下水道等)が整っている地域もあること、防犯・防火等に最低限必要な体制を確保できることなどにより、所要の措置を講じた上で短期間の宿泊は可能と認められる。

【議員の提言】 ● 宿泊する町民の**安全の確保が最優先**である。警察・消防等の**24時間体制での対応**が必要だ。



- 宿泊する家屋内外の**放射線量の把握は必須**である。申し込みがあった家屋の内外の**放射線量の計測は、要望の有無にかかわらず、必ず行うべきだ**。
- 宿泊する町民の**ライフラインの確保が重要**である。**ガスの使用やトイレの浄化槽の清掃など、希望者へのきめ細やかな対応が必要だ**。

《安全対策の充実》

- 警察による警戒の継続
 - ・パトロールカーが町内に常駐し、24時間体制での警戒警らにあたる
 - ・特例宿泊世帯への声かけ、周辺のパトロールを行う
- 双葉消防本部による防火・救急体制の強化
 - ・特例宿泊世帯の重点的パトロール、24時間の出動体制を構築する
 - ・個別訪問を実施する
- 町役場職員が期間中、宿直を実施し、日中は保健師による訪問を行う

《放射線量の測定及び管理の徹底》

- 宿泊家屋内外の空間放射線量率を測定し、個人線量計を配布する

《ライフラインの確保》

- 福島県LPガス協会と連携し、安全なガスの使用の周知徹底を図る
- 浄化槽については、個別に相談を受け、清掃などの対応を実施する



特例宿泊世帯に保健師が訪問

《特例宿泊実績》

- 【お彼岸】 平成28年3月17日～3月23日
 宿泊世帯数 22世帯(34世帯)
 宿泊者数 35人 (60人)
- 【お花見】 平成28年4月6日～4月17日
 宿泊世帯数 17世帯(23世帯)
 宿泊者数 28人 (42人)

※()内は申込世帯及び人数

原発等
特別委員会

正確な情報発信と
継続した人的支援を求める

平成28年2月29日に開催した原子力等特別委員会で、福島第一原子力発電所第1号機から4号機の廃止措置等に向けた中長期ロードマップの進捗状況について、東京電力(株)より説明を受けました。

本会では特に、東京電力(株)の社内マニュアルに沿わない情報発信をしていた件について是正を求めるとともに、町の復旧・復興に向けて継続した人的支援を求める声が多く聞かれました。

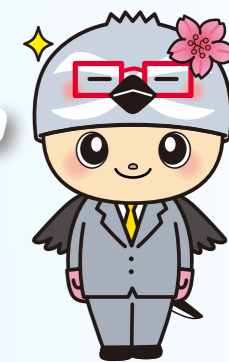
【炉心溶融の情報発信】
 事故当時、炉心溶融(メルトダウン)について正しく情報発信されなかった原因は、
答 東京電力(株) 事故後、3月14日にメーターが復旧した時に、炉心の損傷割合が数十%になっていることがわかり、炉心溶融を起こしていると判断できました。社内マニュアルでは5%を超えると炉心溶融と判断されると明記されているにもかかわらず、そのような報道をしてこなかったことを深くお詫びいたします。

【継続した人的支援を要望】
 今後復興を進めていく上で、人的な支援は、
答 東京電力(株) できることは何でもやるという名目で復興本社を立ち上げました。実際に他の自治体からも人的支援の要請をいただき、期間限定で社員を派遣したケースもあります。人的な支援が必要な場合は、具体的にご相談いただき、人数、期間等を検討、対応したいと考えます。

原因、経緯について、第三者を含めた検証委員会を早急に立ちあげ、調査し、ご報告します。
答 総務課長 これまでも様々な支援をいただけてきましたが、今後も必要に応じて支援の要請をしていきたいと考えます。

ふるさとの復興のために

全力で取り組みます



平成28年第3回臨時会(初議会)

※◎委員長 ○副委員長



後列左から 高野匠美・遠藤一善・高橋実
前列左から 高野泰・○堀本典明・◎早川恒久・塚野芳美

総務常任委員会
委員長 早川 恒久
副委員長 堀本 典明



後列左から 安藤正純・山本育男・渡辺高一
前列左から 渡辺英博・○宇佐神幸一・◎渡辺三男・黒澤英男

産業復興常任委員会
委員長 渡辺 三男
副委員長 宇佐神幸一

新議会の構成決まる

改選後、初の議会となる平成28年第3回臨時会が4月5日に招集され、今後4年間の議会組織構成を決定しました。議長、副議長の選挙を行った結果、議長に塚野芳美氏、副議長に渡辺英博氏が選出されました。

また、各委員会の選任をはじめ、双葉地方広域市町村圏組合及び双葉地方水道企業団の議会議員の選挙や各種審議会等の委員の推薦を行いました。



副議長
渡辺 英博



議長
塚野 芳美

塚野芳美議長就任あいさつ

去る4月5日に開催されました初議会において、議員の皆さまのご選挙により議長に再任されましたことは、光栄でありますとともに、引き続き議会の重責を担うことになりましたことに、改めて身の引き締まる思いであります。

本町は未だ全町避難を余儀なくされておりますが、本年度は帰還を見据えた町内の居住環境や生活環境等の復興が本格化したと見られます。様々な事情を抱える町民の皆さまがたとえどのような選択をされたとしても、等しく安らぎのある生活が取り戻せるよう、議会と町が一丸となって尽力してまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

渡辺英博副議長就任あいさつ

東日本大震災後の原子力災害により、全町避難という未曾有の事態に迫り込まれ、早5年という月日が経過しました。この間、町民の皆さまは筆舌に尽くせない困難に直面し、それを乗り越えようと努力してきたことと思います。

町民の皆さまの生活の再建、富岡町の復興・再生に大変重要な時期です。このような時期に、副議長の要職に就かせていただき、重責に身の引き締まる思いであります。微力ではありますが、議長の補佐を務めるとともに、皆さまのご意見を町政に反映させ、町の復興・再生に全力で取り組む覚悟です。皆さまのご指導ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

議会運営委員会

◎遠藤一善 ・ ○早川恒久 ・ 渡辺英博 ・ 黒澤英男 ・ 渡辺三男

原子力発電所等に関する特別委員会

◎宇佐神幸一 ・ ○堀本典明
※議長以外の全議員が構成委員になります。

議会報編集特別委員会

◎堀本典明 ・ ○渡辺高一 ・ 高野匠美
遠藤一善 ・ 山本育男 ・ 渡辺英博

双葉地方広域市町村圏組合議会議員

塚野芳美 ・ 高橋実 ・ 渡辺三男

双葉地方水道企業団議会議員

遠藤一善 ・ 高野泰

条例に基づく各種委員

◇富岡町都市計画審議会委員 [堀本典明 ・ 黒澤英男]
◇富岡町青少年問題協議会委員 [高野匠美 ・ 早川恒久 ・ 宇佐神幸一]
◇富岡町総合開発審議会委員 [渡辺高一 ・ 高野泰]
◇富岡町民生委員推薦会委員 [遠藤一善 ・ 渡辺三男]

復興へのあゆみ

様々なイベント等で、町民の『富岡町から遠く離れた土地で長く避難生活を送っていると、皆様の先が見えない不安を私たち編集委員が現地に行き、

方から多く聞かれるのは富岡町が今どうなっているのかわからない』という声です。少しでも解消できるように、富岡町の現状をお伝えします。

3 拠点整備課が富岡町保健センターへ



4月1日より、拠点整備課が富岡町保健センターへ移転しました。これにより、保健センターでは復旧課・復興推進課・拠点整備課の3課約20名の職員が勤務します。

ふるさとで
事業再開

4 セブンイレブン上郡山店開店



3月31日にセブンイレブン上郡山店が開店しました。



1 富岡消防署臨時拠点を設置(2F)



富岡町消防団第一分団屯所(中央2丁目86番地)に富岡消防署臨時拠点を設置しました。

2 福島復興本社を富岡町へ



平成25年1月1日にJヴィレッジ内に設置された福島復興本社が浜通り電力所(本町1丁目38番地)に移転しました。

優良賞を受賞

全国町村議会議長会が主催する第30回町村議会広報全国コンクールにおいて、議会だより第179号が262町村の応募の中から第7位、優良賞を受賞しました。

これからも編集委員一同、議会活動を町民の皆様にわかりやすくお伝えするために、読みやすい議会だよりの編集に努めてまいります。今後とも、ご支援ご協力をお願いいたします。



「請願」と「陳情」

町民の皆さんが町政についての意見やしてほしいことを文書にして、直接町議会に提出する制度です。

「請願」の申請に特別な様式はありません。表題(件名)、要望理由、要望事項、提出年月日、氏名(法人、団体は名称と代表者名)、紹介議員を記載して、押印されたものを議長宛に提出してください。

紹介議員のないものは、「陳情」として取り扱います。

《請願書提出後の流れ》

請願書を提出 ⇒ 所属する常任委員会で審議 ⇒ 「採択」「不採択」の決定

常任委員会で「採択」された請願 ⇒ 本会議で審議 ⇒ 本会議で「採択」 ⇒ 町長や関係行政庁に送付し、実現を要望(審査結果は請願者にも通知されます)

※「陳情」は全議員、町執行部に写しを配布します。

今年も夜の森の桜は町民の帰りを待つように、咲き誇っていました。皆さんもご覧になれたでしょうか。

表紙の写真は富岡町立中学校の入学式です。緊張の表情ですが、大きな可能性を秘めた生徒達を先輩達が温かく迎え入れてくれます。早く中学校生活に慣れて、楽しく学んでください。

今回の議会報より、改選後の新メンバーでの編集となります。これまで以上に町民の皆さんに読んで頂ける議会報となるよう、編集に心掛けて行きます。何卒よろしくお願ひします。

(堀本 典明)

発行責任者

議長 塚野芳美

議会報編集特別委員会

委員長 堀本典明

副委員長 渡辺高一

委員 高野匠美

委員 遠藤一善

委員 山本育男

委員 渡辺英博

この印刷物は、FSC®の基準に従って認証され、適切に管理された森からの木材を含んだ用紙を使用して印刷しています。



富岡町公式
ホームページ



富岡町

で 検索